

▽あゝの山戀し

帝キネ現代映畫

原作脚色並監督者 大森 勝氏
撮影者 谷口 龍氏

主要役割

岡島庄平 小島 洋々氏
妻節子 尾崎 静子嬢
娘百合子 高津 愛子嬢
細川欣次郎 濱田 格氏
妻おつね 二條 玉子嬢
娘三千子 杉村 チエ子嬢
松田勝巳 里見 明氏

解説——「新野崎」について大森勝氏が監督製作した現代劇である。

略筋——幼くして母に死別した三千子は繼母おつねに虐げられつゝも母親大事と任へてゐた。山の別荘の岡島庄平の娘百合子は毎日運動の途中三千子の姿を見てまたなく愛してゐた。或る夜三千子は繼母の虐待に堪えかねて生みの母戀しく母の墓参に行つた。その留守中おつねの過失から火を發した家は見る／＼炎に包まれた。それと知つた三千子は一散に馳け戻り健氣にも母を救ふべく火中へ飛び込んだ。折から樂しい夜の園ひにあつた百合子の家では火事が三千子の家と知るや百合子は戀人勝巳に三千子を救つて呉れと願つた。勝巳は村人と一緒におつねと三千子を救ひ出した。身に重傷を負つたおつねは庄平の情けで病院へ入れられ三千子の真心に



寫 眞 「あゝの山戀し」 帝キネ大森勝氏作品。
出演の杉村チエ子嬢

感じ己が罪を詫び三千子の素性を語つた。それを聞いた庄平の驚き、三千子こそは永年忘れたことのない自分の罪の子だつた。すべてを許した岡島夫人の情けに三千子は岡島邸へ引取られ幸福に暮すやうになつた。